

会派研修報告書

青雲倶楽部 山田龍太郎 大泉徳子 熊谷克彦 鈴木英信
佐藤繁樹 寺嶋雅子 二階堂充

日時:令和7年3月31日(月) 午前10時~14時

会場:青雲倶楽部会派室

【研修の流れ】

掲題 地方議員研究会 予算質疑特別講座① (動画による視聴)

1. 予算質疑で聞くことはこれだ
2. 質疑のための着眼点
3. 施策評価、総合戦略から質疑を作ろう
4. 事務事業評価を活用しよう

【講師 木村亮太氏プロフィール】

2011年に無所属で市議会議員にトップ当選 2023年4月任期満了
2016年4月京都大学大学院公共政策大学院入学 2018年3月修了
2015年監査委員、2016年度議会改革調査特別委員会委員長、2018年度副
議長、2022年度議長などを歴任

2011年に当選するまでは行政経験、議員秘書経験なし

地方議員研究会の研修にも参加 人事制度 病院経営を学ぶ

現在は、官民連携支援、政策アドバイザー、不登校生支援をしているフリ
ースクールや通信制高校のサポートをする一般社団法人の代表理事、政治
と若者をつなぐNPO法人の理事などを務める。

【研修内容】

1. 予算質疑で聞くことはこれだ
 - (1) そもそも予算質疑の目的は何か
次年度の事業の内容、お金の使い方が適切なのかを確認し、可決する
かどうかを決める。自身の決算質疑・一般質問・議案質疑等の議会発言
の内容が反映されているか確認する。
事実確認だけの質問ではなく政策提言となるような質問を行う。
2. 質疑のための着眼点
 - (1) 次の項目に着目して質疑を作成する。
 - ・これまでの目標と実績の乖離
 - ・実績が増加・減少しているが対応できていないもの
 - ・本来増加・減少していくべきもの
 - ・目的と事業内容(手段)の整合性
 - (2) 数字を確認し、市職員にヒアリングを行い、市が抱えている問題点等
を把握する。
 - (3) 5W1Hを意識して、具体的なかみ合う質疑を行う。

3. 施策評価、総合戦略から質疑を作ろう

- (1) 施策評価とは総合計画で立てた目標に対して、実績がどのようになっているかを評価したもの。
- (2) 年度毎の施策評価の実績・結果から質疑につなげる。
- (3) 総合戦略とは人口減少対策のために作っている計画
- (4) 自治体の人口ビジョンや社人研の推計を確認する。
- (5) 総合戦略の数字から、KPIの達成率、原因、将来展望等を質疑に盛り込む。

4. 事務事業評価を活用しよう

- (1) 事務事業評価（事務事業実績測定）とは、行政活動において事務事業毎に投入したコストや人員とともに、施策目標の達成に向けての実績度を把握するために実施。事業の目的、目標、結果、財源の推移・内訳、今後の方向性などを記載。
- (2) 事務事業評価のチェックポイント
 - ・ 目的に即した指標設定となっているか
 - ・ 毎年目標達成しているか。数年で増加傾向か減少傾向か。予算との関係
 - ・ 人件費総額、直接経費、事務事業総額の数年の増減推移
 - ・ 達成率
 - ・ 達成率が低いものの、今後の取組方策

【考察】

今回の研修会は「そもそも予算質疑の目的は何か」から始まるなど、予算質疑の基本的なものであった。おおむね各議員が実践していることであり、その内容のおさらい、確認するという意味合いにおいては有意義であったと考えるとともに、より良い市政にしていくために各事業の過去・現在の達成率や推移等の数字を的確に把握し、市職員へのヒアリングを通して具体的・建設的な質疑を行うことは、各議員が改めて心得ておくべきことと理解した。

今回の研修で得たことをこれからの議員活動に生かし、市民生活の利便性の向上、及び市政の更なる発展に寄与すべく、また議会活性化に繋がられるように努力をしていきたいと考える。

以上

【研修会写真】

